

項目	観点	教科書名		
		新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	小学社会(116・日文)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	(1) 社会生活についての理解を図り、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるために、どのように配慮されているか。【知識及び技能】	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「〇年生で学んだこと」「〇年生で学ぶこと」、巻末に振り返りに関する頁が用意され、見通しをもって学習したり、学んだことを適切に振り返ることができるような構成となっている。 ・いずれの単元も、問題解決の過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」(ひろげる)として明確に示したり、「まなび方コーナー」を設けたりして、技能が身に付くような配慮がなされている。 ・調べるための資料や写真が充実しており、まとめ方の事例も明示されている。また、重要語句を「ことば」として取り上げ、学習内容がしっかりと定着するよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決学習のための問いや「学びのてびき」が充実している。いろいろなまとめ方が例示されており、技能を高めるための配慮が随所に見られる。 ・重要な語句は「キーワード」や「解説」のコーナーで明確にしてあり、知識を定着させるための配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び方・調べ方コーナー」では、調べ方・表現の仕方などが具体的に記述され、情報を適切にまとめる技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・「学習の計画」では、問題解決のために何をどのように調べたらよいか、調べたことをどのようにまとめたらよいか、などが具体例として記述されている。 ・発表の仕方やノートまとめ方、話合いの例があり、モデルとして活用できるようになっている。
	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を養うために、どのように配慮されているか。【思考力・判断力、表現力等】	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんの話」とそれに関連したいろいろな資料を見比べながら、本時の学習問題に迫れるような構成となっている。 ・「まとめる」の頁では、登場人物の考えやノートの例が提示され、これらをもとに話し合ったり、図表にまとめたりする活動を通して多角的に考える力を養えるように工夫されている。 ・「いかす」の頁では、自分にできることを考えたり、選択・判断したりすることができるよう配慮されている。社会参画を意識した構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習問題を、「この時間の問い」としてはっきりと提示することで、本時で何を考えればよいか明確になっている。また、次時の学習に見通しがもてるように、「次につなげよう」という問いがさらに用意され、問い続けることを重視した構成となっている。 ・本文で、学習に関連する様々な人物を「〇〇さんの話」として大きく取り上げている。それぞれの立場や考え、思いを読み取ることを通して、多角的に考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元をつらぬく学習問題や毎時間の学習問題を明確に提示している。また、本文中では、友だちの発言が枠で囲まれ、いろいろな意見を踏まえて考えられるようになっている。 ・各単元の本文には、これまでの学習を振り返り、自分の考えを発表して話合う場面のイラストがある。登場人物の意見は吹き出しで書かれており、話し合いを重視し、複数の意見から考えを深められる構成になっている。 ・学習に関連する人物を「〇〇さんの話」として多数取り上げ、他の資料も活用しながら多角的に考えられるようになっている。
	(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うために、どのように配慮されているか。【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程を積み重ねることで、児童が学び方を身に付け、主体的に学習できるよう配慮されている。 ・各大単元の導入の見開き頁には、「学習のめあて」が示され、小単元ごとに児童相互での話合いの場面を提示し、多角的に考えられるよう配慮されている。 ・学習内容を捉えられるようなイラスト・写真を見開きに使うことで、児童が興味・関心をもって調べられるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習過程を積み重ねることで、児童が学び方を身に付け主体的に問題解決できるように配慮されている。 ・単元末には、「ひろげる」の頁があり、児童の学習に広がりをもてるよう配慮されている。 ・毎時間ごとに、本時の「問い」と次時につながる「問い」を示すことで、児童の学びが連続し、興味・関心をもって調べられるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習サイクルを示し、見通しをもって主体的に学習できるよう配慮されている。 ・各単元末には、「わたしたちの学びを生かそう」の頁があり、児童が社会の一員として社会と関わっていけるよう配慮されている。 ・学習内容を捉えられるような写真や資料を、吹き出しで補足説明することで、児童が興味・関心をもって調べられるよう配慮されている。
2 内容の程度及び取り扱いについて	(1) 社会的な見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの視点(位置や空間的な広がり)(時期や時間の経過)(事象や人々の相互関係)(比較・分類・総合・関連付け)をイラストで区別したり、4つの視点に関連した具体的な問いを設定したりすることで、児童が社会的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 ・教科書の巻末に、「どのように学んだかふり返ろう」の頁を設けることで、社会的な見方・考え方について児童が再確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「社会科の見方や考え方」で、時間・空間・人々の関わり・比較・関連・総合の6つの視点について、キーワードを具体的に示すことで、児童が社会的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう工夫されている。 ・視点や方法を吹き出しで示すことで、資料について児童自らが、その視点や方法に沿って思考できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方」で、空間・時間・関係の3つの視点を示し、具体的な問いを設定することで、児童が社会的な見方・考え方を働かせて学習できるよう工夫されている。 ・「学び方・調べ方コーナー」で、比較・分類・総合について具体的に調べ方が示され、事象の特色や意味について深く調べられるよう工夫されている。

項目	観点	教科書名		
		新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	小学社会(116・日文)
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの段階において、話し合いや討論の場面を提示し、対話的で深い学びにつなげるような工夫が見られる。 ・冒頭に「前学年で学んだこと」と「当該学年で学ぶこと」を見開きで掲載し、見通しをもって主体的に学習できるような工夫が見られる。 ・学習箇所により「Dマーク」としデジタルコンテンツが用意され、児童の学習意欲を高める工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の「社会科の学習の進め方」には、本書の活用の仕方が分かりやすく提示されている。 ・「学びのてびき」には、調べ方や資料の読み取り方など、学習方法が具体的に示され、見通しをもって学習できるような工夫が見られる。 ・学習の見通しを立てる場面や学習問題をまとめる場面において、児童同士が対話的な学習を行う際の進め方や方法を具体的に示し、深い学びにつなげるような工夫が見られる。 ・学習箇所により「まなびリンク」としデジタルコンテンツが用意され、児童の学習意欲を高める工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方コーナー」が設定され、社会的な見方・考え方の視点と方法などが具体的に示されている。 ・学習問題をつくり、学習計画を立てる場面や、学習を振り返る場面において、グループでの対話例を示し、深い学びにつなげるような工夫が見られる。 ・学習箇所により「デジタルマーク」が示され、デジタル資料で、学習を深めることができる工夫が見られる。
	(3) 問題解決的な学習の充実に向けて、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、いろいろな方法で学習問題を追究していくことができるような工夫が見られる。 ・単元を通して、「単元のめあて」「学習問題」「本時のめあて」を明示し、問題解決的な学習を効果的に進められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」を繰り返しながら学習に取り組むことができるような工夫が見られる。 ・「問い」から展開し、次の時間の「問い」へとつなげていく流れを重視している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の疑問から学習問題をつかみ、友だちの発言や内容の説明を読みながら追究していくことで、考えを深めていく過程を分かりやすく示すなどの工夫が見られる。 ・「見方・考え方コーナー」「学び方・調べ方コーナー」「キーワード」などが設定され、観察・見学、表現活動、問題解決的な学習などを充実させるような工夫がみられる。
3 構成・配列・分量	(1) 単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元は、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」といった問題解決型の学習段階で構成され、本時の「めあて」に学習段階が併記されている。 ・3・4年生では、「まなびのポイント」として、各時間の活動例が示されている。 ・他教科等との関連個所が頁下方に示されており、関連を図りやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の内容が見開き2頁で構成され、活動内容の流れが、1頁目に図式的に示されており、さらに2頁目に、次の時間にどのようなことを学習していくのかが示されているため、見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・選択教材では、主教材に加え、2～4の事例を主教材と同様の展開で示し、学校や地域の特色に応じて選択し学習できるようになっている。 ・6年生は、「政治」→「歴史」→「国際」の順で掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文における、児童の発言を示す記述が枠で囲まれていることで、解説や学習活動の記述が区別しやすい構造となっている。 ・本時でおさえるべき社会的な用語が、内容と絡めて適切に配置されており、且つ分かりやすく解説されている。 ・選択教材では、主教材のほかに1～4の事例が用意されており、取り上げ方を工夫しながら選択して学習できるようになっている。 ・6年生は、「政治」→「歴史」→「国際」の順で掲載されている。
	(2) 単元や教材の分量には、どのような特色があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・選択教材では、主に2つの事例を小単元として設定し、共通して活用できる頁を除くと同じ分量にまとめられている。 ・調べ活動や話し合い活動が適切な時間配分で進むように構成されており、「ひろげる」のコーナーでさらに内容の広がりをもたせることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の扱いに軽重がつけられており、1単位時間で行う調査活動や表現活動の取り組みが、教科書に計画的に記されており、適切な配当時間で学習が進められるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や話し合い活動など、主体的な学習が効率よく進められるように、学習課題につながる写真資料や「〇〇さんの話」といった記述資料が充実しており、適切な配当時間で学習が進められるようになっている。

項目	観点	教科書名		
		新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	小学社会(116・日文)
4 表記・表現	(1) 用語や記号、レイアウト等についてどのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・单元名や学習展開を色分けして示しており、本時の学習課題が文節の区切りで改行され、児童が的確に読み取れるような工夫が見られる。 ・学習上重要な用語を「ことば」の欄で提示し、説明している。小単元の最後に「ことば」を一覧にしたり、巻末に「さくいん」として掲載したりして、学習のまとめや振り返りができるような工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとにテーマカラーが統一され、本時の「この時間の問い」や「次につなげよう」が文節の区切りで改行され、児童が的確に読み取れるような工夫が見られる。 ・学習上重要な用語を「キーワード」の欄で紹介し、小単元末に用語をまとめて示し、巻末に「キーワードの一覧」として掲載してある。難しい用語については解説し、児童の理解を深める工夫が見られる。 ・「次につなげよう」の欄により、次時の学習の見通しがもてるような工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元の見出しの書体や配色が統一され、本時の学習課題が文節で改行され、児童が的確に読み取れるような工夫が見られる。 ・学習上重要な用語は、本文中では全て太字で表記され、「キーワード」の欄で用語の説明をしている。「むずかしい言葉」のコーナーでは、難しい用語や最近使われる用語について解説し、児童の理解を深める工夫が見られる。また、巻末に「キーワードの一覧」として掲載してある。
	(2) 写真や挿絵、図表について、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリーの観点から、図表やグラフ等は、色調の違いだけでなく、模様や形、線種などでも判別できるような工夫が見られる。 ・児童に親しみやすいキャラクターを登場させ、本文では学習のポイントを会話形式で各資料と関連付けてまとめている。 ・児童に人気のアニメキャラクターを登場させ、「見方・考え方」の視点や方法を提示する工夫が見られる。 ・写真や図表などの資料は、見開き単位で番号が付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の見え方に違いがあることに配慮し、カラーユニバーサルデザインに基づき、図版等の色分けの他、形や模様など色以外の表現を加えるなど工夫が見られる。 ・児童に親しみやすいキャラクターとその吹き出しを随所に登場させ、児童の学習意欲を高める工夫が見られる。本文では会話形式で登場させ、学習のポイントを提示し、児童が学習の見通しをもてるような工夫が見られる。 ・写真や図表などの資料は、見開き単位でカタカナの記号が付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の違いを問わず見やすくなるように、カラーユニバーサルデザインに対応した表やグラフ、地図などで色調や色の組み合わせ以外に斜線やドットを使用するなどの工夫が見られる。 ・児童に親しみやすいキャラクターを随所に登場させ、児童の学習意欲を高める工夫が見られる。本文中では、キャラクターの会話を「！」「？」に分けて提示し、児童が学習の見通しをもてるような工夫が見られる。 ・写真や図表などの資料は、見開き単位で番号が付けられている。
5 体裁、使用上の便宜	装丁や使用上の便宜等についてはどのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・目次のある扉の頁には、各学年の学習内容や学習活動に関する写真や「まなび方コーナー」の記載されている頁が掲載され、児童が学習への関心を高め、見通しをもてるように工夫されている。 ・巻末には、学習上重要な言葉をさくいんとして掲載し、3・4年生の教科書には都道府県地図、6年生「歴史編」には年表が綴じ込んであり、学習場面に応じて活用できるような工夫が見られる。 ・5・6年生の教科書は2冊に分冊され、軽量化の工夫が見られる。6年生は、「歴史編」「政治・国際編」に分かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次のある扉の頁には、各学年の学習内容や学習活動に関する写真や「学びのてびき」の記載されているページが掲載され、児童が学習への関心を高め、見通しをもてるように工夫されている。 ・巻末には、3・4年生にはキーワードの一覧が、5・6年生にはさくいんが掲載され、たしかめができるような工夫が見られる。 ・3年生の巻末に「社会科ガイド」が掲載され、調べ方がまとめられている。 ・6年生の歴史年表は、教科書の中央付近に見開き6頁で綴じ込んであり、学習場面に応じて活用できるような工夫が見られる。 ・各学年の教科書が1冊にまとめられ、1年間の学習内容が1冊で把握できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次の頁の前に、絵や写真で学習の仕方や「各学年の学習でたいせつなこと」が提示されている。 ・目次には、单元ごとに学ぶ概要を吹き出しに示し、次の頁には、教科書の使い方が示されている。 ・巻末には、さくいんが記載され、キーワードがまとめている。 ・6年生の巻末に歴史年表が綴じ込んであり、学習場面に応じて活用できるような工夫が見られる。また、「自分史コーナー」があり、興味・関心を喚起するような工夫が見られる。 ・各学年の教科書が1冊にまとめられ、1年間の学習内容が1冊で把握できるようになっている。